

2023 年秋途上人 KITANO 例会 ～安土城跡散策と近江八幡水郷巡り～

世話人：兼田吉治(26 期)、小河原京子(26 期)、梅谷 武(26 期)

10 月 18 日～19 日、途上人 KITANO2023 年秋の例会 “安土城跡散策と近江八幡水郷巡り” を開催しました。初日は 8 時に大阪を出発し、JR 近江八幡駅で宇羅さん、仁張さん、高橋さん、畑地さんと合流。滋賀県立考古博物館を見学、昼食の後、安土城跡散策組と長命寺参詣らくちんコース？（実はハードな山道であった😓）に分かれて散策。安土城跡では築城当時から残る壮大な石垣に触れ、石仏をも石段に使う信長の傲慢さに唾然とし、天下統一を思いながら眺めたであろう絶景を楽しみ、稀代の名将が建てた幻の名城跡を散策。16:30 に宿に着き入浴休憩、夕食宴会。この日は阪神のクライマックスシリーズ制覇に向けた大事な試合日。気もそぞろなファンも居られた様子。結果は阪神の快勝。勝利の美酒。

2 日目は朝食バイキングからスタート。湖畔で記念撮影の後出発。八幡山ロープウェイで山頂へ、歴史浪漫的城下町と琵琶湖を眺望。その後手漕ぎ和船の船上人となり水郷めぐり。澄んだ青空の下、岸边にはコスモスが咲き、船頭さんのガイドを聴きながらゆったりとした時間を過ごしました。豪華な昼食を頂いた後は「雲霧仁左衛門」になりきって八幡堀を散策。時代劇撮影によく使われる八幡堀は安土桃山時代に豊臣秀次が八幡山城を築いた際に城下町と琵琶湖を連結するために造った防御と水運を兼備えた堀で、人、物、情報を集め城下を大いに活気づけたらしい。昭和になり不要になった堀はドブ川のように荒れていたそうですが、今ではきれいに整備され、豪商たちの白壁土蔵や旧家が立ち並び保存されていました。保存された近江商人発祥の街並み散策を楽しんだ後、JR 近江八幡駅で宇羅さんたちを見送って家路につき、18:30 無事に JR 大阪駅で解散しました。



滋賀県立考古博物館にて 背景は安土城址

